

地域の魅力発信セミナー(第22回駐日外交団の地方視察ツアー)

平成28年11月7日から9日まで、外務省と福岡市及び壱岐市との共催で、標記視察ツアーを実施し、駐日各国外交団から15か国計21名が参加しました。

今回の福岡市・壱岐市へのツアーでは、両市の歴史、研究、観光等への理解を深めることを目的とし、各視察先にて参加者に対して、各施設の取組等が紹介されました。

1日目は、東長寺、櫛田神社を見学し、はかた伝統工芸館にて博多人形に絵付けを行いました。ビル街の中の日本庭園「楽水園」にてお抹茶とお菓子をいただいた後に、下水から水素を作り出し、燃料電池自動車(FCV)に供給する世界初の「水素ステーション」を訪れた外交団は、未来の下水処理・エネルギー技術に高い関心を示していました。

2日目、ジェットフォイル(高速船)で壱岐島に上陸した外交団を島の皆さんやゆるキャラ「人面石くん」がお出迎え。昼食後には壱岐高校を訪れ、書道体験、茶道体験などを通して高校生と交流を行いました。住吉神社で壱岐神楽を鑑賞し、一支国博物館に移動した外交団は、古代日本を物語る資料や展示を見学した後に、島の貝殻や色砂を用いてシーキャンドル作りを体験しました。夜には、壱岐市主催の歓迎レセプションが開催され、壱岐市長他が外交団を迎えました。

3日目は、猿の形をした「猿岩」の見学から開始し、辰の島へのクルージングを通して島の美しい自然を満喫しました。午後には麦焼酎の蔵元や真珠の養殖場といった島の産業に関する視察をおこないました。壱岐市長、人面石くん、シーキャンドル作りの先生をはじめとする島の人々に見送られつつ、外交団は壱岐島を後にしました。

共催の自治体からは「各国大使に都市の魅力を伝えるとともに、直接意見交換をすることができ、非常に有意義であった」「自然、歴史、文化、特産物、おもてなしの心など、離島「壱岐」のさまざまな魅力に触れていただき、大変喜んでいただけた。今後、このツアーをきっかけに国際交流が深まることを期待したい」といった声が届きました。

外交団からは「各都市の方々からの温かいおもてなしと充実した日程で、忘れられないツアーとなった」との声がありました。

平成 28年11月
地方連携推進室



はかた伝統工芸館での
博多人形の絵付け体験



水素ステーションで
F C Vに関心を示す外交団



外交団の出迎えに来た
壱岐市のゆるキャラ「人面石くん」



壱岐高校の書道部員による
書道体験

【プログラム】

11月7日(月)

- 東長寺
- 櫛田神社
- 博多町屋ふるさと館
- はかた伝統工芸館
- 楽水園
- 水素ステーション

11月8日(火)

- 壱岐高校生との交流プログラム
- 住吉神社(壱岐神楽鑑賞)
- 一支国博物館見学
- シーキャンドル作り
- 壱岐市長主催歓迎夕食会

11月9日(水)

- 猿岩・黒崎砲台跡
- 辰の島クルージング
- 酒造見学(玄海酒造)
- 真珠養殖場見学(上村真珠)



麦焼酎発祥の地・壱岐の蔵元で
焼酎造りを見学